# 平成２７年度　第４回　宮古市中心市街地拠点施設市民検討委員会　議事録

１．日時　　平成２７年１０月９日（金）午前９時３０分～１１時３０分

２．場所　　シートピアなあど　２階　研修ホール

３．出席委員　１７名

北原啓司、寺崎勉、赤沼正清、太長根理会子、小野寺文雄、盛合敏子
林本卓男、中野正隆、伊藤和榮、山下修治、佐香英一、高橋雅之、横田大樹
鈴木光子、工藤歩、金野侑、望月正彦

４．事務局出席者　１３名

企画部復興推進課長　多田康
復興推進課市街地施設推進室室長　岩間健、同主任　竹田真人
市民生活部環境課長　岩田直司
都市整備部都市計画課長　中村晃
同復興拠点整備室室長　佐々木良幸　同主査　袰岩博之
都市整備部建築住宅課建築担当　主任技師　佐渡俊幸
株式会社久米設計東北支社　３名
株式会社三菱地所設計　２名

５．傍聴者　　２名

６．議題　　（１）宮古市中心市街地拠点施設建設・基本設計（案）について
・施設の設計方針と平面プラン
・諸室の活用イメージ
（２）事業用地の取得について

７．議事録（要旨）

（１）宮古市中心市街地拠点施設建設・基本設計（案）について

| 主な意見及び質疑事項 |
| --- |
| **質疑**<br>・多目的ホールなど、市内には同様の施設がある。キャトルのすくすくランドなどの既存施設のサービス充実も必要だ。<br>　駐車区画数は、現庁舎の 100 台を基準とすると、新施設は 3 つの施設が集約される割に少ないと思う。<br>**回答**<br>・多目的ホールは最大で 325 席程度イスを設置できるというレイアウトになっている。市民文化会館の中ホールは 300 席程度となっている。周辺施設の状況を踏まえ、再度席数を検討する。色々な機能をなんでも集約するというものではなく、必要な機能のみ選定し、充実を図りたい。（事務局） |

| |
|---|
| **質疑**<br>・自由通路の通行について、自転車の人がエレベーターで上り下りをしなければいけないのは不便だ。スロープは設置できないのか。<br>　情報提供コーナーについて、例えば音楽関係のメンバー募集など、行政情報に限らず多くの人が情報発信できる場所となればよい。諸室にも、ちょっとした情報コーナーを置くのも良い。そのためにも運営側のノウハウ構築が必要になる。<br>**回答**<br>・傾斜などを考慮すると、スロープを設置すると駅前広場側まで階段・スロープを延長する必要があり、物理的に難しい。（委員長） |
| **質疑**<br>・多目的ホールについて、演者の出入りが廊下側だと不便ではないか。また、機材搬入は防災備蓄倉庫側からになるのか。<br>　また、市庁舎や保健センターにも自販機があっても良いと思う。<br>**回答**<br>・多目的ホールについては、北側のドアが関係者側になると考えるが、利用者の意見を聞き、設計チームと議論をすること。（委員長） |
| **質疑**<br>・子供連れの保護者は、自由通路を通って駐輪場まで行き来するのが面倒だと思う。外部デッキに数台の駐輪スペースが作れないか。<br>**回答**<br>・敷地内にも宮古駅前にも、駐輪場があるため、避難通路の自転車の移動は歩行者の安全等から様々議論している。施設と駅の行き来で人の動きを終わらせず、南北の人の流れを作りたいという施設コンセプトのもと、最終的に自転車を押して移動できる案を提示した。駅・施設間の行き来であれば、近い駐輪場に自転車を止め、歩いて移動するイメージである。（事務局） |
| **質疑**<br>・多機能トイレが図面上では狭いように感じる。<br>**回答**<br>・施設計画について、県主催で毎月行っているユニバーサルデザイン推進連絡会議に参加し、基本設計案の説明を行った。そこでは、それぞれの障害に合わせて、便器の配置やドアを開ける方法等、形状が異なるトイレを設置してほしいなど、具体的な意見を頂戴している。実施設計時点で反映したい。（事務局） |
| **質疑**<br>・新しいプランで各課の位置が変わったところを説明してほしい。<br>**回答**<br>・1F には市民のニーズの高い総合窓口課のほか、車イス利用者の事情を考慮し、福祉課、 |

| |
|---|
| 介護保険課を 1F に置き、保健福祉部を 1 カ所にまとめる計画とした。税務課は納税相談のほかに、込み入ったプライベートな相談もあるので 1F から 2F に移した。（事務局） |
| **質疑**<br>・避難通路の自転車の通路については、歩行者の安全面にも配慮してほしい。マナーの問題となるが、エレベーターを下りた所に自転車を放置する人もいると思う。<br>　多目的ホールの出入りについて、修正の意見もあったが個人的には今の図面案の配置の方が使い勝手が良いと思う。演者側のドアは、公演中は閉鎖することになり、出入り部のみパーティション等で隠せばよい。機材搬入も今の案が良い。<br>　新庁舎について、現在の 6 階大ホールのように、市民利用を含めた活用が想定される大会議室は計画にないのか。<br>**回答**<br>・市庁舎内の会議室を平日の夜間、土日に開放する場合、セキュリティの管理が難しい。現本庁舎は、各フロアの執務エリアごとに鍵の開け閉めができるが、新施設の計画は、オープンなフロアになっており、全館的にセキュリティの管理が必要である。（事務局） |
| **質疑**<br>・役所の会議室が相当減った部分は、業務上支障はないのか。合わせて、書庫や倉庫も面積 1200 ㎡に対して 430 ㎡で大丈夫か。<br>　現有面積と比較して増えているのは議会諸室だ。もう少し減らせる要素はないのか。また、5 階の会議室 2 の活用方法は。<br>**回答**<br>・庁内からも同様の意見が出ているが、書類保管スペースは最小限とし、執務や窓口対応の必要スペースを確保したいと説明をしている。使わなくなった施設や校舎などを有効に活用すること、また書類保管の見直し等仕事のやり方を工夫する必要もある。会議室は各階のロビーを活用し、係の打合せ等については、執務スペース内のミーティングテーブル等を有効に活用する。（事務局） |
| **質疑**<br>・交流センターのトイレについて、イベント時は女子トイレが混み合う。便器の数を見直した方が良い。<br>　自販機について、景観もそうだが、防災動線上に自販機があると暗いときにぶつかる可能性があり、災害時支障をきたす。自販機コーナーやブースを作るなどして設置するようにしてほしい。現在の自販機は災害時、避難者にドリンクを提供できる仕組みとなっており、施設の備蓄の一部としても取り扱い可能である。<br>**回答**<br>・図面の表記の問題だと思う。自販機ブース以外は図面で表記しないことも多い。動線のことを考えると、ある程度、場所を計画した方が良い。ベンダー会社からの情報収集も必要である。（委員長） |

**質疑**

・出逢い橋の階段を下りて公用車駐車場の出入口辺りに下りる箇所があるが、そこに公用車駐車場を通らずに交流センターに入れる、別の動線を作ることはできないか。

　宮古高校の生徒は、主に避難通路を通りエレベーターを下り、ピロティを通ってマクドナルドと公楽の間の道を通って通学すると思うが、そこには横断歩道が整備されていない。動線として考えた方がいいのではないか。

**回答**

・警察とも協議したが、交差点からの距離の関係で、そこには歩道をおかない予定である。宮古高校前の歩道は、現在押しボタン式になっているが、普通の信号に替える予定である。（事務局）

（２）事業用地の取得について

・特になし。

（３）その他

【事務局から】

次回の委員会は１１月２７日（金）午後１時３０分から、場所は市役所分庁舎３階大会議室。

以上、閉会。